平成20年5月5日発行（年6回5日発行）第41巻1号通巻387号　昭和51年8月18日第三種郵便物認可

http://www.display.or.jp

ニッポンディスプレイ５・６月号
平成20年５月５日発行（年６回５日発行）第41巻１号通巻387号　昭和51年８月18日第三種郵便物認可

ディスプレイ 新・標準見積様式

社団法人日本ディスプレイ業団体連合会　新・標準見積様式作成専門委員会編

近年のディスプレイ業務の著しい技術革新に対応
見積書・内訳書の正しい理解に役立つとともに、標準的な用語、記載の順序などを例示
ディスプレイの見積書作成業務に最適

《内容》

Ⅰ 見積価格の構成
Ⅱ 内訳書の記載基準　内訳書の位置付け／内訳書の書式／内訳書の構成／内訳書作成の留意事項
Ⅲ 内訳書の作成要領　一般事項／計測・計算要領／所要数量の計算要領／諸経費の計算要領／設計・監理費の計算要領
Ⅳ 見積書の記載例　見積総額書／種目内訳書／工種別科目内訳書／部分別科目内訳書
Ⅴ 工種別細目内訳書記載例　内外装工事／演出構成／設備工事／屋外施設工事
Ⅵ 業務分野別内訳書記載例　展示施設／文化施設／物品販売施設／飲食サービス施設／複合商業施設
Ⅶ 略語表　専門委員会／協力会社／参考文献

定価　3,780円（税込）　A4判・156ページ
本会の会員・構成員には、特別価格で頒布します。ご注文は所属の組合・協会または連合会事務局まで。

●お申込は、下記申込書を連合会事務局までFAXにてお送りください。追って事務局よりご連絡いたします。

購入申込書

（社）日本ディスプレイ業団体連合会　行　（FAX：03-3274-4659）

ディスプレイの世界	冊	PLガイドブック	冊
企画・設計等の業務及び報酬基準	冊	統一請負契約書	冊
		新・標準見積様式	冊

＜出版物送付先＞

住　所：　〒

会社名：　　担当者名：

電話番号：　　FAX番号：

発行社団法人 日本ディスプレイ業団体連合会
編集・ND広報委員会　定価350円
〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-8 新京橋ビル　TEL03(3274)4657 FAX03(3274)4659
（会員・構成員の方のND購読料は会費に含まれています）

社団法人　日本ディスプレイ業団体連合会

「第1回 全国青年交流会」3月5日開催

昨年、「発足式」が行われた「全国青年交流会」。本年度は、第1回交流会が八重洲富士屋ホテル（東京）にて開かれた。宮城・茨城・栃木・東京・新潟・石川・岐阜・愛知名古屋・京都・大阪・広島の11会員、69名の次代を担う30～40代の人々の参加を得、またマスコミ各社の取材陣も加えて、会場は活気に満ちあふれた。

コミュニケーションを担う業界として飛躍を
――乃村会長挨拶

田中専務理事の司会進行の下、まず乃村義博会長が挨拶に立った。

これからのディスプレイ業をどのようにしていくかについて、さまざまな意見を交換し合う場をぜひつくっていきたい。今日この場で結論を出せるわけではないかもしれないが、活発に意見を交換してほしい、と話された。さらに、次のようにディスプレイ業の存在意義を強調された。ディスプレイ業は、コミュニケーションの場をつくっていく仕事である。その意味では、広告業やインターネット関連業と同じであるが、われわれはこの二者とは異なり、展示会や商業施設など、バーチャルではないリアルな「ものづくり」を行っている。こういった仕事は時代がどう変わろうと決してなくならないものである。「コミュニケーションの場」をつくっているのだという思いを、常にみなさんに持ち続けてほしい。今や広告業とインターネットは競合関係にあるが、われわれはそれらの勢力下に甘んずることなく、コミュニケーションの世界をリードしていくという思いを持ち続けてほしい。

交流会冒頭、挨拶に立つ乃村会長

パネル討論会「青年部からみた業界の現状と今後」

今回の交流会は、各会員青年部のメンバーによるパネル・ディスカッションがメーン企画。東京・新潟・石川・愛知名古屋・大阪・広島の各青年部から1名、パネラーとして参加していただき、丸田亨氏（小林工芸社常務取締役・東京）をコーディネーターとして、「青年部からみた業界の現状と今後」というテーマで討論会が行われた。活発な議論の中から、以下に幾つかの発言をピックアップしてみよう。

メーン企画として行われたパネル討論会

ディスプレイ憲章

ディスプレイは
主題を空間に演出する伝達技術である
われわれは
企業間の相互理解に立ち
業界全体の繁栄をはかると共に
創造に徹し　技術を磨き
ディスプレイを通じて社会に貢献する

会員団体（34会員）

北海道ディスプレイ協会
青森県ディスプレイ協会
岩手ディスプレイ協会
宮城県ディスプレイ協会
秋田県ディスプレイ協会
山形県ディスプレイ協会
福島県ディスプレイ協会
茨城ディスプレイ協同組合
栃木県ディスプレイ協同組合
群馬県ディスプレイ業協同組合
千葉県ディスプレイ業協同組合
東京ディスプレイ協同組合
神奈川横浜ディスプレイ協同組合
新潟県ディスプレイ協同組合
長野県ディスプレイ協会
富山県ディスプレイ業協同組合
石川県ディスプレイ業協同組合
岐阜県ディスプレイ産業協同組合
静岡ディスプレイ協同組合
愛知名古屋ディスプレイ協同組合
三重県イベントディスプレイ協同組合
京都ディスプレイ装飾協会
大阪ディスプレイ協同組合
兵庫ディスプレイ協同組合
奈良イベント事業協同組合
岡山県ディスプレイ協同組合
広島ディスプレイ協会
山口県ディスプレイ協会
徳島県ディスプレイ協会
愛媛ディスプレイ協会
福岡ディスプレイ協同組合
長崎県ディスプレイ協同組合
熊本ディスプレイ協会
鹿児島ディスプレイ協会

もくじ
CONTENTS

第1回 全国青年交流会 1
平成19年度地区審査会で入選した14作品を顕彰 4
全国を絆でむすぶ構成員章・徽章 5
日デ連「職長・安全衛生責任者教育」共催のご案内 6
平成20年度 商業施設士試験 概要 7
ODA海外視察研修ツアーリポート 8
大阪ディスプレイ協同組合
「TOKYO FANTASIA 2007」クリスマスツリー 11
TSP太陽株式会社
わが組合・協会 お国じまん 12
ディスプレイ産業賞2008作品募集 14
連合会のおもなうごき 15
編集サロン 16

表紙の説明

アマガエル
「やせがえる負けるな一茶これにあり」小林一茶の名句。このカエルがアマガエルかどうかは定かではないが、メスの争奪戦に敗れたオスガエルを不憫に思い、自らの不遇な身の上に重ね合わせてうたったと言われている。幼いころに母を亡くし、また自らの子供たちや妻たちとも死に別れた一茶。農民的な視点で優しさあふれる素朴な名句を数多く残している。

ニッポン ディスプレイ
ND
Nippon Display
2008
MAY
JUNE
387

ディスプレイ業の現状について

まず、業界の現状について一人ずつ発言が行われた。

ローコスト・ハイクオリティが要求される。新素材も生まれているが、それに対応する技術の進歩が望まれる（広島）。イベント数は過去最高を記録したが、ライヴ・コンサート系が多く展示会系は減少傾向にあり、いまだ回復していない（大阪）。東京ビックサイトなど、東京発注の仕事が多くなっている（大阪・愛知名古屋）。現在、ものづくりの職人さんは50～60代中心なので、新技術・素材に対応した若手の育成が課題となっている（愛知名古屋）。青年部は1社1名46歳未満という加入条件だが、部員39名中、半数が会社代表者（後継者）であり、残り半数が幹部社員という状態だ（東京）。景気回復がなかなか浸透してこない業界ではあるが、厳しいのは当たり前、地道にこつこう頑張っていくしかない（東京）。２０１４年の北陸新幹線開通を心待ちにしているが、反面、クライアントが東京・大阪へ逃げてしまうのではないかということも心配だ（石川）。繁閑期の差が激しい、ヒマな時は忙しい時の1／3、極端な場合には1／6～1／7くらいになってしまう。したがって、正社員と派遣スタッフとのバランスなど人員の配置が難しい。人材育成については、インターンシップを取り入れている。人材を育て、イベントをつくり出し、それを地域に受け入れてもらうようにしたい（石川）。04年中越、07年中越沖地震の影響がまだまだ残っている。イベント費用を復興へ回したいということで、開催自体が少なくなっている（新潟）。いわゆる「風評被害」もある。輪島塗の職人さんたちの中には、震災後廃業してしまう人たちも出ている（石川）。展示会系の仕事は減っているわけだが、一時に50人以上の作業員を集めなければならない場合、アルバイトの手配が難しくなっている（新潟）。

業界の現状については、景気の先行きが不透明ななか、ローコストでハイクオリティな仕事を求められ、新技術・素材への対応、後継者としての人材の育成、人員の手配などの共通の課題が浮き彫りにされた。

ついで、青年部の運営の仕方について、その活動内容も含めた話題が話し合われた。

青年部の会合では、ダンピングの末、仕事をとった、とられたという話が出ることもある（石川）。会合では、仕事上の競合関係は抜きにして、ネットワークづくりを目的としている。それぞれの会社の悩み事などを語り合っている（東京）。情報交換を重視、メーリング・リストをつくって、連絡を取りやすくしている。旅行・ボーリング・ゴルフなどレクリエーションを通してネットワークを広げている（愛知名古屋）。都道府県を越えて近畿地域としてまとまろうという考えもある（大阪）。

また、現在、材料費の高騰が大問題となっているとの指摘もあった。

仮設費が大幅に値上がりしたが、それをそのままコストに転嫁できない（東京）。ベニヤなど共同購入できるものはしようという動きもある（石川）。

熱気に溢れる交流会会場

ディスプレイ業の未来について

将来へ向けて加入社を増やしていきたいということが、各青年部共通の望みだ。

協同組合加入社は、少しコストがかかってもいい仕事をする、安心して任せられる会社だという信頼を得たい。石川から発信できるイベントを企画していきたい（石川）。青年部を足がかりにして、スムーズな世代交代のヒントを得られるようにしたい（東京）。広告代理店からお仕事をいただくことが多いが、われわれにはハード部分のノウハウがある、さらにソフト部門のノウハウも高め、業界をリードしていきたい（大阪）。

そして、ディスプレイ業という仕事について、われわれが常に心にとどめておかなければならないような大切な意見も出された。

イベントに来ていただいたお客さんに笑顔で帰っていただくことを目標にやっていきたい。このことが仕事のリピートにつながる（石川）。われわれの仕事は一過性ではあるが、人々が楽しめる出会いの場をつくっているという自負がある。自分の仕事は必ず家族・友人に見てもらっている（愛知名古屋）。

（左から）丸田亨、田村誠（新潟）、水野浩史（石川）、君野弦（東京）各氏

質疑応答――環境問題への取り組み

討論会に引き続き「質疑応答」が行われ、環境問題に対する取り組みが取り上げられた。

養生シートなど一晩で廃棄する資材が多い。クライアントの手前、使い回しをするわけにはいかない。環境対策としては、分別をしっかりして処理することを心がけている。また、情報管理の観点から、コピー用紙の裏紙を使用できなくなっている（東京）。環境に悪い業界というイメージがあるかもしれないが、養生ベニヤやパンチカーペットなど、材料として再利用の仕方がないか研究者も交えて研究したい（石川）。

（左から）山田源二（愛知名古屋）、山本豪（大阪）、孝野真也（広島）各氏

懇親会では活発な対話の広がり

懇親会は、倉田信一副会長の乾杯で始められた。会長をはじめ、連合会の理事を交えた対話の輪があちこちにつくられ、盛んな名刺交換が行われた。話題は、仕事のこと、家族のことなど多岐にわたり、ディスプレイ業の下に集まったさまざまな業種の人々の交流が広がった。

そして、浜田晋副会長が「中締め」の挨拶。情報が大切といわれるが、その情報が流れるネットワークづくりがまず大切、これを機に多様なネットワークをつくってほしいというお話があった。

全国から結集したディスプレイ業の若手の意見交換は、現場に持ち帰られ、これからの仕事に十二分に生かされることだろう。

浜田副会長による「中締め」

対話の輪が広がった懇親会

倉田副会長による懇親会乾杯

全国を絆でむすぶ構成員章・徽章

日デ連・40周年記念

40周年記念事業委員会
委員長　大内　養一

（社）日本ディスプレイ業団体連合会は本年、創立40周年を迎えます。

この記念すべき40周年にあたり、平成19年8月28日の幹部会にて、構成員章と徽章をつくり構成員の方々に配布する旨決定いたしました。同年9月14日、日デ連会議室にて「40周年記念事業委員会」を開催し、（1）製作スケジュール、（2）型状・デザイン・コスト、（3）製作業者等々について検討いたしました。委員である（株）乃村工藝社エグゼクティブクリエイティブディレクター・片山英治氏、（株）つむら工芸事業開発部部長・元岡憲彦氏両名の協力を得て、10月初旬には構成員章9点と徽章5点のデザインが提出されました。何れの作品も40周年に相応しい重厚感と、更にディスプレイ業界に相応しい趣があり、甲乙付け難いものでした。作品のデザインを更に理解すべくサンプルをつくり、同年10月30日と12月13日の幹部会に諮り選定の段階に入りましたが、全員多いに悩んだあげく僅差で構成員章が決定、徽章に付いては基本的方向性が大方決まりましたが文言と色に付いて次回持ち越しとなり、3色それぞれのサンプルも作る事となりました。

この様な作業に取り組みつつ、見積もり参加社を募り、9社が参加し、落札にいたりました。徽章については、価格的に大きな相違を感じられず、1社に絞り込み綿密な打ち合わせをさせて頂きました。

平成20年2月14日の幹部会において、構成員章のデザイン（最終サンプル）と徽章のデザイン（サンプル）も無事承認となり、本格的に製作の運びとなりました。

構成員章は壁掛けと卓上設置兼用の機能をもたせ、シンプルなデザインの中にも、お洒落で視認性の高い作品となっております。徽章に付いては3種類のサンプルで意見が分かれ、これも僅差で深見のある日本の伝統色に決定（乞うご期待）、仕上げに付いては普段余り見かけない、表面を透明エポ掛け（表面張力的）とし台座は純銀製としております。

構成員の皆様には4月末迄に、お手元に届く様準備しておりますので楽しみにしてお待ち下さい。又、この度の構成員章及び徽章が業界の発展の象徴として、又、全国で活躍している同業者間の絆として、後世に伝えて頂ければ、この上ない喜びであります。輝かしい40周年記念の末端を担わせて頂きました事に対し深く感謝申し上げ、又、委員として多大なご協力を頂きました、片山英治氏、元岡憲彦氏、ご両名に対し、誌面を借り厚くお礼を申し上げます。“大変お世話様でした”

平成19年度 地区審査会で入選した14作品を顕彰

去る3月26日（水）に（株）乃村工藝社・新社屋にて、平成19年度にディスプレイ産業賞・地区審査会で入選した作品への顕彰が行なわれた。

地区審査会は、ディスプレイ産業賞の主旨であるディスプレイ産業振興に加えて、地域振興を目的に従来の審査委員会と併行して開催された。東日本地区から19点、中日本地区から12点、西日本地区から39点、合計70点の応募作品中、各審査会での審査の結果17点の作品が入選し、うち3作品はディスプレイ産業奨励賞を受賞した。

当日は奨励賞を受賞した3点を除いた14点中、出席した7点の入選作品を担当した構成員に対し、乃村会長より入選状が贈呈され盛会裡に終了した。

平成20年度の地区審査会は4月に行われた。

●平成19年度地区審査会入選作品

東日本	盛岡さんさ踊り北日本銀行パレードカー	スペースデザインシステム
	2006ハートフルクリスマス141	㈲ホソカワアートディスプレイ
	ホテルテラスザガーデン水戸“シーズンズコート”	㈱アーバン
	伊香保グリーン牧場インフォメーションボード	㈱マエダスタジオ
	SCビジネスフェア2007“パールマネキンブース”	㈱昭栄美術
	デジモ?モデルハウス	㈱モリタ装芸
中日本	2007-2008A/WジョイントビシュウエキシビジョN	㈱大和工芸
	Dear OASIS	㈱サンテン・コーポレーション
	金沢21世紀美術館シアター21“ピールアート・ワークショップ”	㈱オトムラ
西日本	JAPAN SHOP2007“MBA JAPANブース”	㈱キヌガワ京都
	第21回国際高血圧学会“武田薬品工業ブース”	㈱サンケイビルテクノ
	Green Leef	㈱入江工芸社
	長崎さるく博’06　グラバー園ファンタジア“光の森”	㈲アート長崎
	ミント神戸オープニングライトアップ	㈱つむら工芸

日デ連「職長・安全衛生責任者教育」共催のご案内

当委員会では、構成員各社が常日頃の事業活動を行う上で、現場の事故・災害を未然に防ぐ「安全衛生管理」に注力して頂くことが、各社の信頼度を高めるのみならず、ディスプレイ産業の認知度向上の上でも重要なこととして、教育研修活動を進めてまいりました。

近年ますます高まりつつある企業活動におけるコンプライアンス（法令遵守）の観点からも、安全や偽装への戒めは企業にとって、死活問題にまで及ぶと言って過言ではない状況であります。

このような状況に鑑み、貴協同組合・協会におかれましても、より一層の安全衛生思想の重要性を構成員及び協力会社各位に啓蒙して頂く機会ですので、貴協同組合・協会の事業計画に是非ご採用頂きたくご案内をさせていただきます。

教育研修委員会
委員長　奥下雄康

■日デ連の講習会受講の特長について

日デ連の「職長・安全衛生責任者教育」は、建築業界の講習とは若干異なり、内装工事業の事例や業務内容を考慮した講習会の内容を多く取り入れ、協力業者の方々にも親しみやすいカリキュラムとなっております。

また、同一地域の方々に参加いただき、受講者人数も16～30名程度と小人数制の開催のため、受講生同士の交流の場としても、様々な考え方や共感を分かち合える講習会になっています。

■職長・安全衛生責任者教育カリキュラム

第1日目	
10:00	開会挨拶、講師紹介、注意事項等
10:10	まえがき、職長・安全衛生責任者教育を始めるにあたって
10:30	第1章　職長・安全衛生責任者の役割 第1節～第3節
11:10	休憩10分
11:20	第2章　作業員に対する指導及び教育の方法 第1節～第3節 ①ビデオ「安全衛生責任者とは」
12:00	昼食休憩1時間
14:00	休憩10分
14:10	第4章　職長・安全衛生責任者が行なう安全施工サイクル 第1節～第6節
15:10	休憩10分
15:20	第7節～第12節 ②ビデオ「現場で活かす安全施工サイクル」
16:40	休憩10分
16:50	演習　作業手順書によるリスクアセスメント
17:30	1日目閉講

第2日目	
10:00	オリエンテーション、ラジオ体操、安全朝礼、現地KY
10:10	第5章　関心の保持と創意工夫を引き出す方法 第1節～第3節
10:40	第6章　異常時、災害発生時における措置 第1節～第4節
11:00	①ビデオ「うっかり災害、横着災害」
11:20	休憩10分
12:00	昼食休憩1時間
13:00	演習　災害事例研究実技（グループ討議）
14:00	休憩10分
14:10	演習　KY活動、役割実技（グループ別作業）
16:10	理解度テスト
16:40	修了証発行
17:30	閉講

※カリキュラムの基本的内容は法令等により定められていますが、構成の順序等若干変更して実施する場合もあります。

■教育カリキュラムは2日間となります。■費用は16,000円/1人となります。■日デ連より受講修了証を発行致します。
開催ご希望の組合は、開催場所と若干の備品をご用意いただき、受講者は16名から30名程度を募集してください。日程調整の上、日デ連から講師を派遣します。なお、主催については日デ連及び協同組合・協会との共同主催になります。
※開催をご検討頂ける協同組合・協会は、日デ連事務局（TEL03-3274-4657）までご連絡下さい。

平成20年度

商業施設士試験 概要

試験日：平成20年7月27日（日）

◆受験申込書販売・4月23日～6月13日
◆受験申込書受付・5月14日～6月20日

商業施設士資格試験は、学科試験と構想表現（実技）試験について行います。両試験を同一日程（7月27日）に実施します。

●学科試験：多肢択一方式

学科試験は、『共通問題』と『選択問題』より構成

『共通問題』とは…学科試験を受験すべき対象者のすべての方が受験しなければならない試験項目

『選択問題』とは…【商業一般】・【業態計画】・【計画一般】・【施設計画】・【監理施工】の5教科うち、2教科を選択して受験できる試験項目

●構想表現（実技）試験

構想表現（実技）試験は、「図案表現」か「文章表現」のいずれかの試験方法を選択できます

「図案表現」とは…①平面図、②イメージパース、③主旨（コンセプト）を解答する方法（従来までの設計製図試験の解答形式）

「文章表現」とは…論文、事業計画、店舗ゾーニング、等々

課題、設定条件、解答方法は、6月上旬頃発表の予定

■受験区分と受験資格

学科試験のみ

「満20歳以上」の方。平成18年、19年度試験の構想表現（実技）試験に合格された方。

学科試験＋構想表現（実技）試験

「満20歳以上」かつ右記の構想表現（実技）試験受験資格に該当する方。

構想表現（実技）試験のみ

右記の構想表現（実技）試験受験資格一覧表に該当する方、平成10年度以降の商業施設士試験の一次試験または平成18、19年度試験の学科試験に合格された方で右記の構想表現（実技）試験受験資格一覧表に該当する方、および商業施設士補資格者。

■試験地

札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡

■受験手数料

◆学科試験のみ　12,600円
◆学科試験＋構想表現（実技）試験　21,000円
◆構想表現（実技）試験のみ　12,600円

■構想表現（実技）試験 受験資格一覧表

最終卒業学校または他の資格取得等によって実務経験年数が異なります。

	最終卒業学校または資格		実務経験年数	
			商業施設関連課程卒	左記以外の課程卒
学歴＋実務	大学・短期大学 高等専門学校及び専修学校・専門課程 高等学校		卒業後1年以上 〃　1年以上 〃　2年以上	卒業後2年以上 〃　2年以上 〃　3年以上
資格	一級、二級、木造建築士 インテリアプランナー 再開発プランナー 中小企業診断士 一級販売士 インテリアコーディネーター		0年	
	商業施設士補	大学		
		短期大学・専門学校	士補資格取得翌年度の試験より受験可	
実務のみ	その他、上記と同等以上と認められるもの		5年以上	

「実務経験」については、下記へお問い合わせください。

問い合わせ

社団法人 商業施設技術者・団体連合会

〒108-0014　東京都港区芝5丁目26番20号　建築会館
TEL: 03-3453-8103　FAX: 03-3453-8109
E-mail: info@jtocs.or.jp

受験願書・総合案内書がダウンロードできます。www.jtocs.or.jp/

大阪ディスプレイ協同組合

ODA海外視察研修ツアーリポート

アジア・ワールド・エキスポ

大阪ディスプレイ協同組合（ODA）・海外視察研修ツアー参加者18名を乗せた全日空175便は、3月1日（土）、雨上がりの関西国際空港より一路香港へと旅立ちました。大阪とは違い、2月～3月は香港のベストシーズン。自宅から張りきって薄着で出発、肌寒く感じていましたので、香港国際空港から外に出た瞬間「暖かい」と思わず言葉が出てきました。

到着後まず、空港に隣接するアジア最大規模の展示会場「アジア・ワールド・エキスポ」へ。もちろん香港最大の展示会場で、2005年12月にオープン。7万㎡以上のスペースに、10あるホールは天井が高く柱のない造り。そのうちの一つ、大イベントでも対応可能な香港最大の屋内エンターテインメント用アリーナ（収容着席人数13500名）では、"フランシスコ・ドミンゴ"のコンサートの会場設営が行なわれていました。広報担当の方の案内で内部を隈なく視察させていただきました。その後バスで移動し、ホテルへチェック・イン。夜の視察に備えます。

香港と言えば100万ドルの夜景。その夜景を何十倍にもグレードアップする毎晩8時からのイベント「シンフォニー・オブ・ライツ」。これは香港が英国植民地から中国へ返還されたことを記念して、2003年から香港政府観光局によって開催されています。ビクトリアハーバー沿岸のオフィスビルや主要建物から、音楽に乗せレーザー光線とサーチライトが夜空に放たれる約15分間のショーは、「目覚め」→「エネルギー」→「遺産」→「パートナーシップ」→「セレブレーション」と5つのテーマから構成されていると聞き、どんな演出があるのかと非常に関心がありましたが、始まってみると音量も小さく、目が肥えている（？）我々にとっては、新鮮味に欠け、物足りなさを感じました。

翌日は午前中香港での自由視察の後、フェリーで1時間の対岸のマカオへ。マカオは1999年12月に中国に返還された特別行政区。1557年ポルトガルが租借し、16～17世紀には同国のアジア貿易とカトリック布教の拠点として繁栄。1887年に清朝から正式に割譲されポルトガル領になり、450年以上にわたって東西文化が融合・共存し、世界でも類をみない異文化共生の地として発展してきました。そして、近年はその歴史と伝統を象徴する世界文化遺産に加え、公認のカジノをはじめとする数々のエンターテインメント、近代化と国際化をすすめており世界中から注目されています。

12ヶ所の観光スポットを含む22の歴史的、宗教的建築物と8つの広場は、「マカオ歴史市街地区」として、2005年7月15日に行われた「第29回ユネスコ世界遺産委員会」において、世界文化遺産に登録されました。歴史的建築物といってもマカオ市民には普段の生活空間そのもので、それぞれが施設の中に厳重に収容されているわけではありません。小さな街ですのでまさに散策にもってこいで、朝食後、ホテルから腹ごなしに散歩しているとあちらこちらに世界遺産が……。わずか30分程度の散歩で6つもの世界遺産を見学できました。街全体が、中世の風と南欧の香りが残る、一つの博物館となっているかのようでした。

世界文化遺産・マカオ歴史市街地区

香港 マカオ

マカオ政府観光局

その後、南灣湖の埋立地域に2001年12月19日にオープンしたマカオタワーへ。高さ338mのタワーは世界で10番目の高さだそうで、地上から233mのところに回転レストランやラウンジ、展望台が設けられています。今回は時間がなく（勇気もなく）我々視察団では誰も挑戦しませんでしたが、バンジージャンプをはじめとした数々の（冒険系？）アトラクションが有名です。下部には、コンベンション施設や娯楽施設が中心となった4階建てのコンベンション&エンターテインメント・センターがあり、4階がコンベンション施設となっている。1960㎡の会議場エリアは5mの障壁で8つの部屋に区切られ、併設されている500座席のシアターは3ヶ国の通訳装置付きで、ビジネスや舞台芸術などの公演に利用されているとのことでした。

マカオタワーの展望回転レストランでの夕食の後、南灣湖の音楽噴水を鑑賞。コンピューター制御で跳ね上がる水とそれをスクリーンとして浮かび上がる映像、レーザー光線が放たれていましたが、故障だったのか音楽が聞こえず、水の落ちる音だけが聞こえ、香港の「シンフォニー・オブ・ライツ」同様迫力に欠けました。ちなみに観客は、我々視察団だけで、寂しさに輪をかけました。この後は解散となり、三々五々のエンターテインメント視察へと向かいました。残念ながらカジノで大儲けした参加者はいなかったようです（小儲けは数人おられた様ですが…）。

3日目は今回の視察研修ツアーのメインイベント。午前の部、マカオ経済セミナーでは観光局・局長と副局長から最新の観光事情について、そして午後からは、マカオがすすめる近代化と国際化の先駆者的な役割を担う「ザ・ヴェネチアン・マカオ・リゾート」へ場所を移し、当組合の顧問である衆議院議員・中山泰秀氏からのご紹介により、コンベンション、エキシビション関係施設を中心に詳細にご案内いただきました。

セミナーでは、マカオへの来訪者や宿泊施設数の推移等を詳細にご説明いただきました。2000年900万人だった来訪者数が2004年から各地へのPRを開始し、2006年4月「マカオビジネス観光センター」というビジネス観光向けの単独機関を作り、観光事業に力を入れた結果、2007年には約2700万人もの方がマカオを訪れ、2008年1月には、既に200万人（前年比16%UP）を数えるとお聞きし、マカオの急速な経済成長に驚きました。また、来訪者の約60%が中国本土から、約30%が香港からと、日帰りに近い滞在日数で、カジノだけに行く人や、ホテルに宿泊せず、24時間営業しているカジノで夜明けを迎える人も多いようです。ちなみに、マカオのカジノ市場は急拡大しており、2006年の収入は70億ドルとなり、ラスベガスの66億ドルを抜いたそうです。

ヴェネチアン・リゾートは、マカオの埋立地「コタイ」地区に誕生した世界最大規模の総合リゾート施設です。97万㎡の敷地内には、

マカオ経済セミナー

ザ・ヴェネチアン・マカオ・リゾート

３０００を超える全スイートルーム（最小でも70㎡だそうです）のホテル、ベニス風の巨大ショッピングモール「ザ・グランドカナルショップ」には３５０を超えるブランド・ショップ、カジノフロアは43万㎡、スロットマシンは約６０００台、ゲームテーブルが約８００台設置されているそうです。コンベンション、エキシビション関係施設は10万㎡を超える広さで、視察当日〝キャメロン・ディアス〟のコンサート設営が行なわれていた「ザ・ヴェネチアン・アリーナ」は、１５０００席を超えるシートスタジアムで、あらゆるイベントに対応できるとのことでした。また、カジノの魅力を武器に大型会議や展覧会を誘致し、観光業や小売業も発展させていく「ラスベガス方式」をアジアで採用したことで注目されています。

コタイ地区では現在、同様の大規模ホテル・リゾート施設が建設ラッシュです。観光局長と今回ご案内いただいたヴェネチアン・リゾートの担当者は、口をそろえて「5年後、グレードアップしたマカオにまた来て下さい」とおっしゃいました。が、マカオがアジア最高のエンターテインメントスポットへ。そしてまた、世界屈指のコンベンション&エキシビション開催地へと変貌するのに、そんなに時間がかからないのではないかという気がしました。

3日目のラストは「フィッシャーマンズワーフ」。２００５年に開業したマカオ最大のテーマパーク。11万㎡を超える広大な園内は急ぎ足でも2時間以上。中国の王朝風の街並みを再現した「唐城（タン・ダイナスティー）」、マカオをテーマにした中世西洋の街並み「東西匯聚（イーストミーツウエスト）」、シーフードレストランなど港町の雰囲気を楽しむことができる「勵駿碼頭（レジェンドワーフ）」の3つのエリアに分かれていて、カジノやショッピングセンターも併設されています。今回は、一部しか視察できませんでしたが、ここだけでも一日まるまる楽しめるほどの規模でした。

最終日、マカオから再び香港へ。香港コンベンション&エキシビションセンターを視察。オープンは１９８８年11月で、4万1千㎡の敷地に建てられた、高さ55mのポディアムの上に総床面積1万8千㎡の2つの展示ホールと、分離可能な多目的会議ホール、そして音響設備完備の2つのホール、26部屋の様々なサイズの会議室があります。当日は「ジュエリーショー」が開催されており、外観のみの視察になりましたが、2つの高級ホテルと、商業用ビル、そして豪華なアパートタワーという、4つのタワーがそびえていました。拡張により現在の総床面積は6万3千㎡を超える大きさだそうです。

本当に駆け足での全行程を消化。香港・マカオを満喫した一行を乗せた全日空１７６便は香港国際空港から関西国際空港へと。盛況な香港のコンベンション事情。古い伝統的なものと新しい革新的なものがうまく融合して変貌を遂げようとしているマカオ。この体験は驚きの連続であり、そして大変意義深いものになりました。最後にご同行いただいた参加者の皆様、添乗員と現地ガイド、そして通訳、その他ご関係いただいた全ての皆様に感謝申し上げて、海外視察研修ツアーのご報告とさせていただきます。

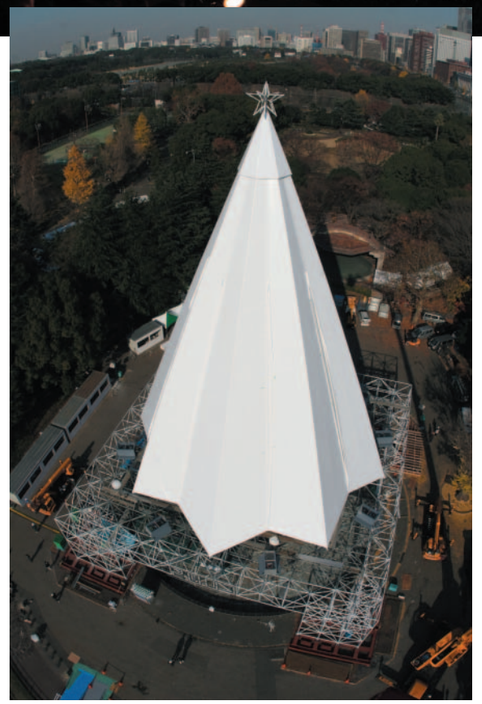
大阪ディスプレイ協同組合
刊行委員長　藤田智久

フィッシャーマンズワーフ

ODA
foreign countries
inspection training
tour report

日本一のスケールを実現！
「TOKYO FANTASIA 2007」クリスマスツリー

TSP太陽株式会社
東日本営業部　中村　剛



２００７年12月に東京の日比谷公園において開催された「ＴＯＫＹＯ FANTASIA ２００７」に、ＴＳＰ太陽と太陽工業の創業85周年記念事業の一環として、日本国内では最大規模となるテントのクリスマスツリーを協賛出展しました。

このイベントは都市公園の活性化と緑化を訴えること、そして公園の新たな魅力を創り出すことを目的に、日比谷公園をイルミネーションで覆い、大都会東京の冬の風物詩となるイベントに育て上げようと企画されました。

12月21日の点灯式から新年カウントダウンイベントまでの11日間に１００万人を超える来場者を迎え、「ＴＯＫＹＯ FANTASIA ２００７」は素晴らしいイベントとなりました。

ＴＳＰ太陽は、このイベントのシンボルとなるクリスマスツリーの企画制作から設計施工、光と音の演出までを担当しました。環境にもやさしいイベントとして、またオリジナリティーのあるクリスマスツリーの制作と工期の短縮を目指し、主構造材には弊社の保有するレンタル材のＴＭトラスシステムを採用、ツリー頂部のシンボルスターや形状構成部材に工夫をこらしました。ツリーの枝葉にあたる部分にテントを使用することで太陽グループらしさをもアピール、日本一のスケールを誇るクリスマスツリーを実現させることができました。

クリスマスツリーの醍醐味とも言える装飾と演出については、ＰＣ制御によるワンクール15分の演出プログラムを制作、光と音響による演出に工夫をこらしました。台座部とツリーの輪郭の照明演出にラインＬＥＤを配することで、クリスマスツリー全体のシルエットを際立たせ、光の躍動によるスケール感のある訴求を試みました。また、白いテント膜をキャンバスに見立て、3種類の投影照明機材をＰＣ制御することにより、クリスマスらしい絵柄を投影、高さ42ｍのツリー全体に、光りと音による躍動感あふれる多様な演出を行いました

実施に向けては、建築についての協議・各種申請や、公園管理者や関係機関との折衝を行い協力を得ながら、クリスマスツリー全体の演出イメージ策定や実施方法の検証を同時進行で進める制作作業は、まさしく弊社の社名でもある「Ｔｏｔａｌ　Ｓｐａｃｅ　Ｐｒｏｄｕｃｔｉｏｎ」（頭文字を合わせＴＳＰ太陽です）であり、太陽グループらしい記念事業を行うことができたと自負しています。

イベント概要
名称：「TOKYO FANTASIA 2007」
主催：TOKYO FANTASIA 実行委員会、TBS
後援：東京都、千代田区、東京都オリンピック招致委員会
期間：2007年12月21日～2008年1月1日
場所：日比谷公園噴水広場／第二花壇周辺／にれの木広場

テントクリスマスツリー概要
規　模：H42 m×W30 m×D30 m
総重量：約130 t
主構造：TMトラス鉄骨構造
テント材料：PVCポリエステル膜
LED照明球：約56,100球
照明音響演出：照明・音響／PCプログラム演出制御

富山県高岡市
高岡のステキをご紹介します。
高岡の魅力をお伝えします。

①はじめに

高岡市は、伏木港の良港に恵まれ、北陸道といった幹線の陸路があり、河川の舟運がはりめぐらされた交通の要衝であったため、古くから人や物資が集積する場所として栄えた地域です。

雨晴海岸

奈良時代に高岡市伏木の地に越中国府が置かれ、天平18年に万葉集の代表歌人である大伴家持が国守として当地に赴任しました。家持は在任5年の間に、風光明媚な二上山・雨晴海岸や、民衆の心豊かな暮らしぶりなどを詠んだ多くの秀歌を万葉集に残しています。

江戸時代のはじめ、慶長14（1609）年には加賀藩二代藩主前田利長公が高岡城とその城下町を築き、現在の高岡市の基礎となりました。利長公の死後一国一城令により高岡城は廃城となり、武士団の撤去に伴い、町人の住まいする街並みがつくられました。その後、商工業を中心とする町人のまちとして発展し、高岡銅器、高岡漆器、高岡仏具などの伝統産業を生み出しています。

近世から近代にかけ、高岡銅器は技術の向上を図って日用品から美術工芸品の製作に移行・成熟し、全国の美術的価値の高い装飾品の主要な産地となり、国内はもとより海外にも輸出されることとなりました。

明治以降は伏木港の発展とともに重化学工業、木材・紙・パルプなどの工業集積が形成され、戦後になると伝統的な高岡の金属工業はアルミ産業へと発展し、全国有数のアルミの一大産地を形成するなど、高岡市は日本海側有数の商工業都市として発展しています。

②世界文化遺産登録に向けて

高岡市民はこのように、先人がつくりあげ洗練させてきた伝統産業に息づく"ものづくり"の技を継承・発展し、アルミ・化学などの新たな産業を根付かせてきました。

高岡には"ものづくり"の情熱・技とともに、近世都市の形成と発展過程をもの語る歴史・文化資産が良好に保存されており、この先人から引き継がれた貴重な宝物を次の世代に受け継ぐべく、文化庁が全国の自治体に募集をかけた世界文化遺産登録推薦候補に名乗りを上げています。

国宝瑞龍寺

高岡市が提案した「近世高岡の文化遺産群」は、「高岡城跡（高岡古城公園）」、国宝「高岡山瑞龍寺」、「前田利長墓所」「雲龍山勝興寺」「山町筋（重要伝統的建造物群保存地区）」、「金屋町」、「高岡大仏」など、全22箇所で構成されています。

このような伝統工芸り伝える思想は市民にりとなっており、特に、400年の歴史を持つ高岡御車山祭は高岡町民文化の象徴であり、高岡銅器や高岡漆器といった伝統工芸の技術が余すところなく発揮されています。

こうした伝統工芸もなお次世代を担うされ、「ものづくりのまち」高岡を支える柱となっています。

高岡御車山祭

金屋町

高岡大仏

③産業観光への取組み

いま、北陸と中京圏とを結ぶ「東海北陸自動車道」が平成20年7月の全線開通に向け整備が進められています。既存の「北陸自動車道」を含め、大都市圏や能登半島と短時間で結ばれ、縦軸・横軸の交差する重要な地域になりつつあります。また、それに加え、北陸新幹線が平成26年の長野―金沢間開業を目指し着工されています。

この高速インフラの完成・整備を絶好の機会と捉え、"ものづくり"を中心とした【見る・作る・学ぶ】の産業観光ツーリズムを実施し、『ものづくりを体験する喜び』『高岡市の文化や歴史に触れる感動』『日本海の幸を味わう楽しみ』をテーマに体験型・滞在型観光で交流人口を増やそうと積極的に実施しています。

このように、鋳物産業にはじまった"ものづくり"の技と情熱は、脈々と後世へと継承され、高岡を代表する地場産業に今も息づき、発展の礎となってきています。

高岡鋳物発祥の地である金屋町には平成19年4月、「高岡市鋳物資料館」がオープンし、由緒ある古文書や初期の鋳造技術をもの語る鋳物製品、多種多様な造型・鋳造用具など数多くの資料が展示されています。

万葉のふるさとであり、加賀百万石前田家ゆかりの国宝・重要文化財などの歴史・文化資産とともに"ものづくりのまち"高岡における産業観光の活用を広く全国に発信しています。

鋳物産業・伝統産業に触れ、先人が築いた伝統と歴史を体感し、高岡に息づく"ものづくり"を味わうのもおもしろいのではないでしょうか。

④終わりに

高岡市には、美味しい食べ物は、脂の乗った寒ぶり、新鮮な蟹、日本海の宝石と呼ばれるシロエビ、幻想的な光を放つホタルイカ、夏の岩ガキ、たまに食べられるゼラチン質の深海魚ゲンゲ（下の下魚の意味）等のキトキト（新鮮）で豊富な魚介類や、清冽な水で育まれた米や野菜や果実も素晴らしいと評判です。また、鱒の寿し、かまぼこ、氷見うどん、大門そうめん、荒縄で持っても崩れない五箇山豆腐、新鮮な魚から作った塩干物、干し柿、かぶら寿司、お茶の文化に育てられた上菓子等の商品も沢山あり、その場で食べてもよし、お土産としてもピッタリです。

また、高岡の歴史や文化を伝えるお祭りは、春は御車山祭り、けんか山で知られる伏木曳き山、夏の夜を彩る七夕まつり、秋には万葉祭り（万葉集全巻朗誦の会）や五穀豊穣を感謝する奇祭福岡町つくもん祭り、冬には冷えた体を温める日本海なべ祭り等が四季折々に開催されます。

伏木曳き山

会員の皆様方には是非とも高岡を訪問され、自然と文化と食に触れていただければ幸いです。

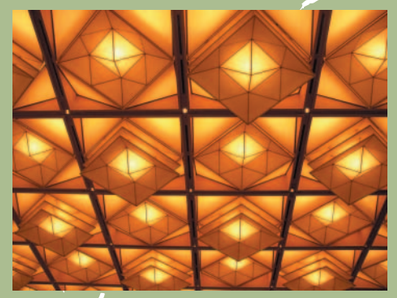
富山県ディスプレイ業協同組合
副理事長　山本　務

わが組合・協会
お国
じまん

日本というより世界に自慢出来る町が、わが町京都です。平安京の時代から1200年余りの文化や歴史については、ここで申すまでもないと思います。明治4年、遷都に伴い意気消沈していた京都に活気を取り戻そうと三井八郎右衛門、小野善助、熊谷直孝の三氏が欧米に習い開いたのが「京都博覧会」でした。ロンドン万博に遅れること僅か20年のことでした。以後、京都博は京都の年中行事となり、昭和3年の明治文化博覧会まで60年に及ぶ歴史を刻み、数々の遺産を残しました。今も華やかに繰り広げられる都おどりは、第一回目のアトラクションとして今日まで100年以上も続いています。初演当時は革新的だった踊りも今では、伝統芸の域に達せられています。

都が築かれる以前から、多くの渡来人により繊維、工芸、建築等さまざまな技術が伝えられて来ました。新しいものを拒まず取り込み、長い時間を掛け自分達のものにし「和風」と云うものに洗練され今日に至っています。これらは、工芸、食文化、祭り等生活習慣に至るまで「こだわり」を持った"町衆"によって創り上げられたものです。換言すれば「こだわり」を持った町衆が居たからこそ今日の京都があるのだと言えます。今も「こだわり」をベースに京都の企業は育っているように思います。平成17年完工した京都迎賓館もそんな遺産の一つです。

京都迎賓館は日本の歴史、文化を象徴する都市・京都で、海外からの賓客を心をこめてお迎えし、日本への理解と友好を深めていただくことを目的に建設された国の迎賓施設です。歴史的景観や周辺の自然環境との調和を図るため、日本の伝統的な住居である入母屋屋根と数奇屋造りの外観をいかし、築地塀を巡らせた品格のある和風の佇まいが創出されています。和風と申しましても伝統的な木造建築ではなく現代のハイテク技術を生かした「和風の態様」を持つ建物です。建設に当たっては、数奇屋大工、左官、作庭、截金（きりかね）など、数多くの伝統的技能を活用し、京都を代表する伝統技能者の技も生かされています。また調度品についても西陣織や蒔絵（まきえ）、漆などの伝統的技能を活用した家具が配置されています。東京（赤坂）に位置する洋風の迎賓館とあわせ、国公賓などの賓客の接遇の場としての役割を果たしています。一般参観も随時募集されていますので、機会ありましたら「新旧の比較」に眼を配り観覧されることをお勧め致します。



進取の気性に育まれる伝統
世界都市京都

とかく京都という町は保守的イメージに捉えられがちですが、進取の気性も併せ持った新旧の合体した希有な世界都市であると思います。ただ今、わが協会には約50社の加盟がありますが、少ない年会費で相互懇親を大切に活動の輪を広げています。残念ながら日デ連の加盟は7社に留まっており、参加をお願いし会員増強を図っているところです。そんな中、協会も今年で40年を迎えます。京都の伝統や文化がこれ迄以上に花咲き、新たな知恵とこだわりの精神で新しい産業発展に寄与出来ればと願っております。

京都ディスプレイ装飾協会
理事長　湯淺圭一

2月-3月 連合会のおもなうごき

公益法人制度改革検討委員会

開催　2月5日
会場　ディスプレイ連合会　5階会議室
出席　浜田（委員長）、今西（相談役）、土井（委員）、尾澤（監事）、田中（専務理事）、清水（事務局）
議題　①公益法人制度改革に伴う諸条件について　②その他

「職長・安全衛生責任者教育」講習会

開催　2月7～8日
会場　大阪産業創造館（大阪）
講師　藤原茂夫（㈱シーズ・スリー）
受講　25名

教育研修委員会

開催　2月12日
会場　乃村工藝社201号会議室
出席　奥下（委員長）、鈴木（副委員長）、小作・榎本（委員）、橋本（オブザーバー）、田中（専務理事）、清水（事務局）
議題　①次年度「職長・安全衛生責任者教育」講習会開催候補地について　②会員宛講習会開催依頼文書の検討について　③人材派遣業に絡む諸問題について　④その他

総務・財務委員会

開催　2月14日
会場　ディスプレイ連合会　5階会議室
出席　渕田（委員長）、川口（副委員長）、田中（専務理事）、清水（事務局）
議題　①委員会の事業活動について　②平成19年度「事業報告（案）」および「収支計算書（見込）」について　③平成20年度「事業計画（案）」および「収支予算書（案）」について　④第40回「全国大会の実施要領」について　⑤次年度「会議予定」について　⑥第41回全国大会（三重）日程（案）について　⑦その他

正副会長会

開催　2月14日
会場　ディスプレイ連合会　5階会議室
出席　乃村（会長）、倉田・浜田（副会長）、田中（専務理事）
議題　①幹部会の進行および議題について　②その他

幹部会

開催　2月14日
会場　ディスプレイ連合会　5階会議室
出席　乃村（会長）、倉田・浜田（副会長）、田中（専務理事）、大内・清水・土井・橋川・後藤・渕田（常任理事）、奥下・田口・角川（理事）、清水（事務局）
議題　①会務報告　②平成19年度「事業報告書」について　③平成19年度「収支決算書（見込）」について　④平成20年度「事業計画書」について　⑤平成20年度「収支予算書」について　⑥公益法人制度改革について　⑦構成員章・徽章進捗報告　⑧第40回「全国大会の実施要領」について　⑨全国青年交流会について　⑩ディスプレイ産業賞特別審査委員について　⑪商施連の運営について　⑫次年度「会議予定」について　⑬第41回全国大会（三重）日程（案）について　⑭その他

広報委員会

開催　2月21日
会場　ディスプレイ連合会　5階会議室
出席　田口（委員長）、荒川・金澤・桑田・三原・関根・早野（委員）、田中（専務理事）、清水・竹内（事務局）、恩川（日本印刷）
議題　①3・4月号の進捗状況報告　②5・6月号の編集企画について　③HPトップページのリニューアルについて　④次年度号の表紙について　⑤その他

全国青年交流会

開催　3月5日
会場　八重洲富士屋ホテル（東京）

地域活性化委員会

開催　3月26日
会場　乃村工藝社ディシジョンルーム
出席　橋川（委員長）、山本（副委員長）、梅津・玉木・田中（委員）、乃村（会長）、倉田（副会長）、大内（常任理事）、田中（専務理事）、清水（事務局）
議題　①次年度の事業について　②その他

理事会・全国理事長会

開催　3月26日
会場　乃村工藝社ノムラホール
出席　乃村（会長）、倉田・岡田・浜田（副会長）、田中（専務理事）、大内・清水・土井・橋川・渕田（常任理事）、入江・梅津・奥下・川口・小作・櫻井・櫻田・田中・角川・橋本・森田・山本・横田（理事）、北山（監事）、市村・玉木（理事長）、村山・加藤（顧問）、滝北・今西・中田（相談役）
議題　（報告事項）①会務報告　②「ディスプレイ産業賞」審査委員について　③その他　（審議事項）①平成19年度「事業報告書」に関する件　②平成19年度「収支決算書（見込）」に関する件　③平成20年度「事業計画書」に関する件　④平成20年度「収支予算書」に関する件　⑤次年度「会議予定」に関する件　⑥「第40回全国大会（東京）」収支予算書に関する件　⑦「第41回全国大会・中日本地区／三重」開催に関する件　⑧その他

お詫びと訂正

以下の誤りがございました。お詫びして訂正させていただきます。

○ND08・3・4月号　p.12　執筆者名	
誤	株式会社御殿工業 営業部長　山田英一
正	株式会社御殿工業 代表取締役社長　長尾真彦

日本全国。いつでも、どこでも、必要なスタッフを、必要なだけ。

グッドウィルのイベント派遣サービス

イベント会場の設営/撤去/搬出入/場外整理/受付案内など
イベントをバックアップします。

総合人材サービスの
株式会社 グッドウィル

カスタマーセンター 0120-55-9101

〒107-6229 東京都港区赤坂9-7-1ミッドタウンタワー29F

Goodwill 東証一部上場:4723

一般労働者派遣許可
許可番号　般13-300177

NDF Information

ディスプレイ産業賞2008作品募集

主旨

ディスプレイの創造力、技術力の向上と併せてディスプレイ産業振興のため、ディスプレイの優秀作品を賞揚し、その成果を公表して、ディスプレイの社会的認識を高め、かつ、生活、文化水準の向上に資することを目的とします。

表彰対象

表彰対象となるのは、ディスプレイデザインが優秀であることに加えて、ディスプレイ産業振興（博覧会、展示会、博物館、店舗、催事等の効率と機能を高める企画・設計・演出・展示構成・製作施工監理等の技術力、業務水準の向上）に寄与すると認められる作品であることとします。2007年5月1日から2008年4月30日までに実現、または現に機能している作品とします。

審査委員

紫尾 淳一　日本電気株式会社 宣伝部部長
志村 務　経済産業省商務情報政策局参事官
仙田 満　放送大学教授
角川 渉　社団法人日本ディスプレイ業団体連合会年賞・年鑑委員会委員長
豊口 協　長岡造形大学理事長
乃村 義博　社団法人日本ディスプレイ業団体連合会会長
橋爪 紳也　建築史家／大阪市立大学都市研究プラザ特任教授
山田 昌之　社団法人日本ディスプレイデザイン協会会長
（五十音順・敬称略）

審査方法

ディスプレイデザイン賞入賞候補作品のうちディスプレイ産業振興の見地から審査委員の合議により次の各賞を選びます。
●ディスプレイ産業大賞…1点
●ディスプレイ産業優秀賞
　商業施設部門/博覧会・展示会施設部門/文化施設部門より各1点…計3点
●ディスプレイ産業特別賞（日本経済新聞社賞）…1点
●ディスプレイ産業奨励賞（日本ディスプレイ業団体連合会賞）…16点以内

賞

表彰は入賞作品のクライアントおよびプロダクション（企画設計・製作施工）に対して賞記を贈ります。

賞の発表

●入賞の通知は2008年8月末日までに入賞者に連絡いたします。
●表彰は当連合会主催の「贈賞式」において行います。（2008年12月の予定）
●入賞作品は、2009年版「年鑑日本の空間デザイン―ディスプレイ・サイン・商環境」(内外版)に掲載します。

注意事項

応募にあたっては以下の注意事項を予めご確認願います。
●入選作品のうち盗作や写真データを加工修正したなどの問題が確認された場合には、審査終了といえども、入賞を取り消します。
●応募者は同一作品の重複応募にならないよう、各関係者の調整を得て応募してください。
●応募作品は原則として返却しません。
●著作権、写真使用権、出版権、工業所有権については応募者がその責に任じてください。なお、これらの承諾を得られないときは、入賞・入選作品であっても年鑑に掲載することができませんので、予めご了承ください。また、他の出版社が写真版権を所有している写真には、予めその旨を明記して下さい。
●写真等の応募資料の著作権はその著作者に留保されますが、応募にあたり、資料を「年鑑日本の空間デザイン2008」その他の刊行物、当連合会ホームページ(http://www.display.or.jp)、展示会に発表、画像データをCD化する権利を主催団体、空間デザイン機構年鑑刊行委員会、(株)六耀社に付与していただきます。また、応募資料票中、カメラマン・図面欄にその著作者名の表示がない場合は、著作者の氏名表示を不用とするものとみなします。ついては、応募資料の著作権等の処理ならびに管理は、応募者の責任において行って下さい。

※詳細につきましては、4月に全構成員宛に郵送いたしました「作品募集要項」をご参照ください。

主催：社団法人日本ディスプレイ業団体連合会
後援：経済産業省・日本経済新聞社

ビジネスの成功は、ホテル選びから始まっている。

東京駅から歩いて5分。心温まるおもてなしでお迎えする
サービスと施設面も万全。刻一刻のビジネスを快適にこなす、
アクティブな行動拠点としてご利用ください。

国際興業グループ　富士屋ホテルチェーン
八重洲富士屋ホテル
〒104-0028東京都中央区八重洲2-9-1　(03)3273-2111(代)
03-3273-0222(予約直通)

Tokyo&Osaka
The Fujiya Famille Club

The Fujiya Famille Clubは、八重洲富士屋ホテルと大阪富士屋ホテルでご利用いただける、新しいメンバーズ制度です。室料割引のほか、レジストレーションなしでのチェックインなどの特典をご用意しました。入会金や維持費は不要でございます。お気軽にお申込みください。

安くなって新発売!

エッジライト方式（屋内用） PAT.P

PG Light LED

- 安い・明るい・長持ち・影ムラなし
- ランプ寿命、約50,000時間（1日8時間点灯で17年間）
- 前4辺のフレームが手で開けられる
- 高輝度白色LED使用
- 消費電力22W（B1サイズ）の省エネ設計
- ソフト（掲示物原稿）はインクジェット出力に依る バックライトフィルムが最適で安価

参考希望上代

A1サイズ ￥118,000（税込￥123,900）

B1サイズ ￥149,000（税込￥156,450）

（自社製造完成品）

MDI関連品は日本を含む各国で特許・実用新案・意匠・商標に依って保護されており、
MDI社のライセンスの基に製造・販売されているものです。（2007年現在・世界16カ国）

www.shinei-japan.com　sales@shinei-japan.com

◎お問い合わせ・資料請求は FAXで

MEMBER MDI Marketing Displays International

ShinEi JAPAN MDI製品 製造総販売元 シンエイ株式会社

TEL 0120-773201
FAX 0120-213201
〒351-0014　埼玉県朝霞市膝折町3丁目7番31号

低価格、高品質、新商品への挑戦社！
工場直販　詳しくは当社ホームページをご覧下さい

Eメールによる受発注
全国どこでもネット入稿で
大変便利スピーディー！

社内一貫生産体制　充実設備で高精度のモノを　お見積歓迎

1 大型全自動オートスクリーン捺染機

営業品目　広告旗・懸垂幕・タペストリー・のれん・ゼッケン
エプロン・半天・繊維へのプリント・防炎加工など

2 インクジェット出力（染料・溶剤）

布プリントを主体として、その他のメディアも
お受け致します。
インクジェット高画質出力「染料物」ロット対応致します。

3 販売促進用品カタログ販売

約3000種、既製品旗、旗用ポール、その他多数。
ホームページでもご覧いただけます。

SERIART セリアート株式会社
〒175-0082 東京都板橋区高島平9-14-5
Tel.03-3935-4424
Fax.03-3935-3700
http://www.seriart.co.jp/
e-mail info@seriart.co.jp

ニッポンディスプレイへの広告は下記へ

AD／AGENCY
編集・広告・販促／企画・制作
株式会社 東京宣広
〒162-0844 東京都新宿区市ヶ谷八幡町1新高ビル
TEL.03-3267-5531(代)　FAX.03-3267-5534
http://www.tokyosenko.co.jp

北陸の和倉温泉にある加賀屋が、テレビで取り上げられていました。「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」で28年連続日本一に選出されている旅館です。ここのサービス・おもてなしはつとに有名ですが、その背景には並々ならぬ努力の積み重ねがありました。決して便利とはいえない石川県七尾に位置しているながら、宿泊客に魅力を感じてもらうための工夫が随所にみられます。温泉と豪華な施設、贅を尽くした食事、エンターテインメントや空間演出など、顧客に満足を与えるための投資を続けています。

これらは巨大資本があれば明日にでもまねができるかも知れません。しかし、加賀屋が積み重ねてきた最大の投資は、実は人材への投資であったように思われます。入社すると同時に礼儀作法をはじめ、集合教育や先輩による指導など、加賀屋ならではの教育が徹底して行われます。顧客への気配り、おもてなしの心を身につけるまで、大変な時間と労力を費やします。パートを含めると約800人に上る従業員を、顧客へのおもてなしの心に収斂させていくための取り組みは、並大抵ではありません。女将さんをはじめ従業員全員が、個々の宿泊客からの要望に実に細かな対応をしています。顧客の希望をいち早く察知して、すばやく対応するのが命です。マニュアルを超えた心からの気配りが欠かせません。

個々の従業員が宿泊客に真に心をこめて接するためには、従業員自身の心の満足が不可欠です。加賀屋では、カンガルーハウスという子供を持つ母親のための保育所付きの寮を運営しています。一人ひとりの生活上の問題にも親身になって考える、先代からの伝統もしっかりと受け継がれています。顧客満足と従業員満足との両立こそが、日本一を支えている基本になっているように思われました。

広報委員会専門委員
株式会社　博展　荒川信夫

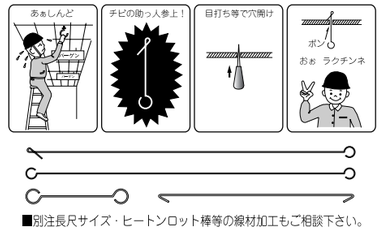
ヒートンにかわるチビの省力助っ人……

SEIKO ラクチンフック　簡便 石膏ボード用天井フック CEILING POP HOOK PAT.P.

全国の職人さんにご愛用いただいています。

- 各種POP広告物＜ポスター・パネル等＞の取り付け作業が高能率になります。
- 石膏ボードに穴を開けて、ポンと差し込むだけでOK！
- 取り外す場合はペンチで先端をカットし、天井裏へ突き上げて下さい。
- 高級ステンレススプリング材（SUS304）を使用していますので、耐久性にも優れています。

サンプル付カタログ差し上げます
http://www.e-seikosha.co.jp



■別注長尺サイズ・ヒートンロット棒等の線材加工もご相談下さい。

（社）POP広告協会正会員　ユニークなPOP & SPツールの専門メーカー　株式会社 制考社　〒657-0836 神戸市灘区城内通1丁目5－4 TEL(078)871-1413・0304 FAX(078)861-6244

ディスプレイ連合会賛助会員

AFLAC アメリカンファミリー生命	飯田電機工業株式会社	総合人材サービスの Goodwill
KSM 株式会社 警備・施工マネジメント	株式会社 シーズ・スリー	SIS 昭和情報機器株式会社 SHOWA INFORMATION SYSTEMS CO.,LTD.
株式会社 損害保険ジャパン 担当支社　北東京支店・池袋総合支社	DOW ダウ化工株式会社 ウッドラック営業部	TOHO 人へ 住まいへ 産業へ 東邦シートフレーム株式会社
株式会社 中川ケミカル	NIP ニップ コーポレーション	NPC 日本印刷株式会社
富士フイルムイメージテック株式会社	富士ゼロックス株式会社	株式会社 堀内カラー
株式会社山元	UNITY 株式会社ユニティー	六耀社（りくようしゃ）
リリカラ	賛助会員募集中	